

事業所における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：平成 31 年 1 月 30 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」大沼校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	広くはないが、活動エリアを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	3	0	職員の入れ替えはあるが、それぞれ経験してきている職員を配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	絵や文字を用い分かりやすく伝えるよう心掛けています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	毎日清掃を行い、清潔な環境を提供できるよう心掛けています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	0	日頃から職員間で話し合い、情報共有しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	頂いた意見を参考に、工夫改善しています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	ホームページ上で公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3		第三者委員会は立ち上がっていません。他校舎の方に見学してもらい、意見をもらっています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	新人研修を含め、充実しています。また、外部研修も参加しています。	
適切な 支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	定期的にモニタリングを行い、保護者のニーズも確認しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化された	2	1	標準化したアセスメ	もう少しアセスメントを改善し、利

の提供		アセスメントツールを使用している			ントを使用しています。	用しやすいようにしていきたいと思 います。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	発達支援を中心に支援しています。都度保護者とも話、ニーズを確認しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	支援計画表を見ながら、職員間で話し合いを行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	支援計画表を見ながら、職員間で話し合いを行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	支援計画表を見ながら、職員間で話し合いを行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3	0	保護者のニーズと本人の特性を考えて作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	支援前後に職員間で話し合い情報共有しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	支援前後に職員間で話し合い情報共有しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	支援前後に職員間で話し合い情報共有しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	モニタリングを行い、出来たこと、出来ること、次の課題を確認し共有しています。	
関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	管理者が出席するようにしています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	連携できる態勢は取っています。	関係機関と連携をもっとできるように連絡を取り合っています。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当ありません	

の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当ありません	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	マップの作成等で様子を伝えています。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	マップの作成等で様子を伝えています。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		連携が取れる回数が少ないため、連携の回数を増やしていきたいと思います。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	1		子どもの通っている幼稚園等と連携をしています。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	0	管理者が参加し、校舎で共有しています。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	保護者から要望を確認し、職員間も話し合い共有しています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	1	家庭での様子を保護者より伺い、児童に合わせた支援内容や声掛けを保護者と確認しています。	小集団等で保護者も参加できる内容を考えていきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	契約時に保護者に説明しています。また、教室に掲示し閲覧できるようにしています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	3か月ごとにモニタリング、個別支援計画を作成し、保護者に説明し、同意を得ています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	受けた相談は職員間で情報共有を速やかにを行い、事業所内相談も案内していま	

				す。		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	小集団を通して保護者同士のコミュニケーションを取れる場を設定しています。	小集団療育は不定期になっているため、1カ月から2ヶ月に1回開催したいと思います。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	相談等は職員間で情報共有し、早期対応しています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1	月に2回程度ブログの作成を行い、校舎の様子や、イベントの案内などを行っています。	月1回程度の会報を検討しています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	個人情報の書類は鍵のかかる書庫に保管しています。また、個人情報の紛失漏洩が無いように整理しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	職員間で子どもの様子を引き継ぎし、状況に応じて、絵カード等を使用し、意思疎通を図るなどしています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	外部向けイベントを実施し、体験、見学ができる場を設けています。	外部イベントの回数が少ないため、回数を増やし、チラシやホームページで外部の方へ周知をしていきたいと思っています。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	月一回、防災訓練を実施しています。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	月一回、防災訓練を実施しています。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0	基本情報シートを面談時に記入し、服薬等の確認をしています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	基本情報シートを面談時に記入し、アレルギー	

				ギ一等の確認をしています。	
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	事例をまとめ職員全体が目を通せるようにしています。	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	校舎や地区で研修を行い、対応を学んでいます。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0	契約時に保護者に説明を行い、了承を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：平成 31 年 1 月 30 日

事業所名 大沼校 保護者等数（児童数）10 回収数 9 割合 90%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	2	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	3	1	0	職員の異動が多く慣れ親しんだ先生が次々といなくなったので、子供が戸惑うことが多かった	他校舎の関係もあり、異動は申し訳ありませんが、引継ぎ等をしっかりと行っています。子供保護者へ不安を与えないよう信頼関係を築いていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2	1	3		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	2	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1	0	2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1	0	2		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	3	0	1		

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	4	3		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	0	0	1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	1	0	2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	0	3	4	ペアトレの講習会を受けた。	小集団等で保護者の方も参加できるような内容を考えていきます。また、外部の講習会も紹介していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1	0	1	慣れていた先生がいなくなったため、新しい先生たちと子供への共通理解を深めていきたい。	引継ぎ等をしっかり行っています。子供保護者へ不安を与えないよう信頼関係を築いていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	5	0	2		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	4	2		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	1	0	2		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1	0	1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	1	0	2	自己評価の結果が分からない	こどもサポート教室「きらり」大沼校のホームページで公表されています。頂いた意見をもとに改善等しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	0	0	1		
非常時等の	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	4	0	1	災害を想定した避難訓練は9月1日に行うが、それ以外は教室にプリントを貼っているのみなのか、あまり目にしたことがない。	毎月、災害、不審者等を想定した防災訓練を実施しています。支援中にも地震等を想定した避難訓練も実施していきたいと思えます。

対応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	3	0	3		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5	2	0	0	先生がいきなり変わるのはやめてほしい。	引継ぎ等をしっかり行っています。子供保護者へ不安を与えないよう信頼関係を築いていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。